2025年度 東京都立大学大学院

人文科学研究科 入学試験

(2月入試)

教室名(分野名)	社会学 教室
課程	博士 後期課程
試験区分	☒ 一般学生 ☐ 外国人特別学生(留学生)
試験科目名	言語科目(英語)
出題の意図	I. 社会学の専門的な分野の文献を読むために必要な英語の力を問う問題である。 II. 社会学の専門的な分野の文献を読むために必要な英語の力を問う問題である。 III. 社会学の専門的な分野の文献を読むために必要な英語の力を問う問題である。 IV. 社会学の専門的な分野の文献を読むために必要な英語の力を問う問題である。

※公開している入試問題について、私的利用以外の目的で複製・転載・転用することを一切禁じます。

大学院人文科学研究科社会学分野 博士後期課程

2025（令和7）年度入学者選抜 試験問題

2025年2月実施

言語科目（英語）

受験生は、下記の注意事項をよく読んで解答せよ。

1. 問題はI~IVの4題である。
I、II、III、IVの各問題ごとに、答案用紙を1枚ずつ用いて解答せよ。
(答案用紙の枚数は、受験生1人について計4枚である)
2. 答案用紙ごとに、必ず、受験番号と氏名を記入せよ。
3. 答案用紙はウラ面を用いてもよい。ただしウラ面を用いた場合はオモテ面にその旨を記せ。
4. 監督員の指示があるまで、問題を開いてはならない。

I 次の英文は Jeffery C. Alexander (et.al.), eds, *The Civil Sphere in East Asia* の序章冒頭部分である。これを読み、下の問いに日本語で答えよ。

問題本文は著作権上、ホームページに掲載
することができません。出典を参考にする
か、東京都立大学南大沢キャンパス人文社
会学部教務係の窓口で閲覧してください。

出典: Jeffery C. Alexander (et.al.), eds, *The Civil Sphere in East Asia* (Cambridge University Press, 2019), Page 1.

出題の都合により字句を変更したことがある。

【問1】 下線部を日本語に翻訳せよ。

【問2】 本書において筆者たちは何を指摘しているか。10行程度で要約せよ。

II 以下の英文を読んで問題に答えなさい。

問題本文は著作権上、ホームページに掲載
することができません。出典を参考にする
か、東京都立大学南大沢キャンパス人文社
会学部教務係の窓口で閲覧してください。

(出典 : Navon, D. (2024). Reiterated Fact-Making: Explaining Transformation and Continuity in Scientific Facts. *American Sociological Review*, 89(5), 849-875. 出題の都合で変更した箇所がある。)

- (1) 筆者は、どのような意味で【A】と考えているか、日本語で説明しなさい。
- (2) 【B】とはどのような意味か、日本語で説明しなさい。
- (3) 【C】を和訳しなさい。

Ⅲ 次の英文を読み、下の問いに日本語で答えよ。

問題本文は著作権上、ホームページに掲載
することができません。出典を参考にする
か、東京都立大学南大沢キャンパス人文社
会学部教務係の窓口で閲覧してください。

出典 : Gottdiener, Mark, Randolph Hohle and Colby King, [1994] 2019, *The New Urban Sociology*, New York: Routledge.

問 1 下線部①の内容を、本文を参考に説明せよ。

問 2 下線部②の理由を、本文を参考に説明せよ。

IV 次の英文を読み、下の問いに答えなさい。

問題本文は著作権上、ホームページに掲載
することができません。出典を参考にする
か、東京都立大学南大沢キャンパス人文社
会学部教務係の窓口で閲覧してください。

※出典 Conrad, Peter, 2005, *The Sociology of Health and Illness: Critical Perspectives*, 7th ed., New York: Worth Publishers.
ただし出題の都合、一部を改変している。

- 問1 下線部①を日本語に訳しなさい。
問2 下線部②の例として、本文で取り上げられていることを日本語で説明しなさい。
問3 下線部③を日本語に訳しなさい。

2025年度 東京都立大学大学院

人文科学研究科 入学試験

(2月入試)

教室名(分野名)	社会学 教室
課程	博士 後期課程
試験区分	☒ 一般学生 ☐ 外国人特別学生(留学生)
試験科目名	言語科目(日本語)
出題の意図	I. 社会学分野の文献を読むために必要な日本語の力を問う問題である。 II. 社会学分野の文献を読むために必要な日本語の力を問う問題である。

※公開している入試問題について、私的利用以外の目的で複製・転載・転用することを一切禁じます。

大学院人文科学研究科社会学分野 博士後期課程

2025 (令和 7)年度入学者選抜 試験問題

(日本語を母語としない者)

2025 年 2 月実施

言語科目 (日本語)

受験生は、下記の注意事項をよく読んで解答せよ。

1. 問題は I~II の 2 題である。

I、II の各問題ごとに、答案用紙を 1 枚ずつ用いて解答せよ。(答案用紙の枚数は、受験生 1 人について計 2 枚である)

2. 答案用紙ごとに、必ず、受験番号と氏名を記入せよ。

3. 答案用紙はウラ面を用いてもよい。ただしウラ面を用いた場合はオモテ面にその旨を記せ。

4. 監督員の指示があるまで、問題を開いてはならない。

問題一

次の問いに答えなさい。解答は解答用紙にわかるように番号を付し、順番に記述してください。空白が生じておかまいません。

問一、次のア～オについて読み仮名を振り、それぞれの意味を日本語で書きなさい。

ア、尊敬 イ、軽蔑 ウ、義務 エ、我慢 オ、墮落

問二、次のカ～コについて読み仮名を振り、それぞれの語を用いて例文を作りなさい。

カ、恰も キ、乞う ク、謂う ケ、然し コ、如く

問三、次のサ～ソに漢字をあて、それぞれの語を用いて例文を作りなさい。

サ、やぶる シ、かたきうち ス、むじゅん セ、よぎなくされる ソ、みがす

問四、次の語の意味を日本語で書きなさい。

タ、資本主義

チ、普遍的原理

ツ、自己欺瞞

テ、基本構造

ト、名場面

問題二

次の文章は、川端善明『宇治拾遺ものがたり』（岩波少年文庫、一九九五）の「伴大納言の話」（三十二～四十二頁）である。「宇治拾遺物語」は一三世紀前半までに作られたとされる説話集であり、この文章はそれを現代語訳したものである。本文を読んでつづく問いに答えなさい。

問題本文は著作権上、ホームページに掲載することができません。出典を参考にするか、東京都立大学南大沢キャンパス人文社会学部教務係の窓口で閲覧してください。

問題本文は著作権上、ホームページに掲載
することができません。出典を参考にする
か、東京都立大学南大沢キャンパス人文社
会学部教務系の窓口で閲覧してください。

問題本文は著作権上、ホームページに掲載
することができません。出典を参考にする
か、東京都立大学南大沢キャンパス人文社
会学部教務係の窓口で閲覧してください。

問一 この文章は、中学生・高校生むけに書かれたものである。清和天皇は八五八〜八七六年の在位で物語は平安時代のことである。この説話の内容を、本文に沿って第一話から第三話に分け、内容を補いながら、さらにわかりやすく要約せよ。

2025年度 東京都立大学大学院

人文科学研究科 入学試験

(2月入試)

教室名(分野名)	社会学 教室
課程	博士 後期課程
試験区分	☒ 一般学生 ☐ 外国人特別学生(留学生)
試験科目名	論文
出題の意図	博士前期課程での研究や先行研究の知見を踏まえ、後期課程での自身の研究内容・計画を適切に表現する能力を問う課題である。

※公開している入試問題について、私的利用以外の目的で複製・転載・転用することを一切禁じます。

大学院人文科学研究科社会学分野 博士後期課程

2025（令和7）年度入学者選抜 試験問題

2025年2月実施

論文

受験生は、下記の注意事項をよく読んで解答せよ。

1. 答案用紙に、必ず、受験番号と氏名を記入せよ。
2. 監督員の指示があるまで、問題を開いてはならない。
3. 解答は答案用紙の両面 1 枚以内にまとめよ。ただしウラ面を用いた場合はオモテ面にその旨を記せ。

論文試験問題（博士後期課程）

博士（後期）課程期間内に予定している自らの研究活動について、以下の諸点に留意しつつ、その研究プログラムのあらましを、答案用紙両面 1 枚以内で記述せよ。

- ①問題設定（研究目的・課題や研究の意義について）
- ②関連する先行研究（学者名および具体的内容）
- ③理論枠組あるいは仮説の提示・検討
- ④研究方法あるいは調査計画
- ⑤自分がこれまで行ってきた研究との関連

*必ずしもこの順序で記述する必要はない。